

魅せる！
現場

現場を支える人々編

天ヶ瀬ダム再開発
トンネル放流設備
減勢池部建設工事

トンネル“貫通” この瞬間を伝えたい

OBAYASHI TOBISHIMA JV

AMAGASE GENSEICHIBU

2016年4月5日は、
日本最大級となる水路トンネル工事にとって
記念すべき日となった。

そう、トンネル“貫通”の瞬間を迎えたのだ！

隣接する工区との間に残された壁を慎重に
掘削し、ついに工区間がつながった。

トンネル技術者は、この瞬間のために日々の
困難に立ち向かっているのだ。



最前線に立ち向かう男たち。

トンネル掘削の最前線！

それは、発破、ずり出し、支保工・吹付け・ロックボルトという一連の作業の繰り返し。
そこには、それぞれの場面で主役を張るプロフェッショナルたちがいる。

“貫通”という瞬間を成し遂げる！！

すべてのプロフェッショナルが、その一心で粘り強く作業を積み重ねている。
天ヶ瀬は“貫通”の先にも仕事が続く、しかし彼らは最後まで妥協しない。



横山 喜代勝 杉本 裕 杉本 健成 山崎 勝 廣田 巧士 玉井 武次 岡本 和徳 辻 敏 平良 博 名越 康夫 会見 三十二 北川 秀彦 三浦 祐二



双葉電気(株)

おだはら ますお

小田原 益男 (53歳)

掘削を進めるための機械や設備に、安全に電気を供給する。仮設電気回路・系統の整備・点検でトンネル工事を支えていく。



(株)吉川組

いまづ しょうじ

今津 昇司 (43歳)

掘削した残土を円滑に運び出さずにトンネル掘削は進まない。地道な繰返し作業だが、安全なダンプ運搬に誇りを持っている。



(株)コトナ

なかむら としあき

中村 敏昭 (63歳)

一般歩行者や車の最優先誘導と、工事用車両の円滑誘導を両立させ、トンネル工事を縁の下から支える。



最前線を支える男たち。

見る者を惹きつける名ドラマには必ず名脇役がいる。

トンネル工事にもなくてはならない名脇役が、掘削を支え、“貫通”というドラマを共につくる。



天ヶ瀬減勢池部JV工事事務所

ぬきぎ りゅうじ

抜木 隆治 (28歳)

測量・計測、写真撮影、品質・出来形と現場業務は多く、自然相手は気が抜けないが、いいモノを安全に造りたい。